

中央大学国際経営学部 企業訪問報告書

調査テーマ	デジタルアニメーションのリーディングカンパニーのグローバルな事業展開と経営理念
調査日	2020年10月29日(木) 15:00~16:30
調査先	株式会社ポリゴン・ピクチュアズ 代表取締役 塩田周三 氏
担当教員身分・氏名	准教授 国松麻季
授業科目/学部企画名	訪問調査(「企業訪問」)
参加学生数(学年)	1年生 24人 2年生 4人
調査趣旨・目的	グローバルビジネスを牽引する会社の企業経営の方法や、世界のアニメーションにおける役割と理念を聞き、質疑応答を行う。
調査結果	<p>塩田社長より、ご準備いただいた豊富な映像を含むプレゼンテーション資料をお示しいただきながら、グローバルな企業経営やリーダーシップなどについてお話しをお聞きました。</p> <p>冒頭、ポリゴン・ピクチュアズのダイバーシティについてお話された。ポリゴン・ピクチュアズでは多くの外国人が働いており、その割合はスタッフの15%にも及び、国内有数のダイバーシティに富んだ企業である。国内のみならずマレーシアにも拠点を置きビジネスを展開している。</p> <p>続いてポリゴン・ピクチュアズが制作に関わった作品、映画、アニメーションを紹介され、アニメーション会社がどのようにビジネス展開をし、作品を管理しているのかを説明された。同時に、商品やサービスだけではなく、共に働く従業員も同様に会社にとって大切な存在であると強調された。この理念を基にポリゴン・ピクチュアズでは働く人が楽しく仕事ができるように、社内ですべてイベントを開催するなどの工夫をしていると説明された。</p> <p>参加学生より、日本の企業は常に残業しており非常にストレスが多い職場環境であるといったイメージがあったが、労働者の働く楽しさを追求する企業もあることを知れたとの報告を受けており、今回の訪問が学生たちの「働く」ことに対する印象に変化をもたらしたと考えられる。</p>



当日の様様。学生の代表が冒頭、画面越しに挨拶



代表取締役社長 塩田周三のプレゼンテーションの様子。学生は対面とオンラインで参加



事前勉強会の様子



事前勉強会後に中央大学の「C」マーク